

田上早百合プロフィール

富山県出身。6歳～書道を始める。
大学で国文学・書道・陶芸を学び、書道の非常勤講師をしている。
下の子供が高校生になった2005年～創作活動を再開する。2008年、初個展、その後、個展・グループ展を行なう。2015年～書グループ「墨翔」に参加！



ごあいさつ

本日は、お忙しい中、ご高覧いただき、ありがとうございます。
ございます。

私の展示スペースは、10年くらい前から「早百合の壁」と称します。アート仲間が「バカの壁」をもじってつけてくれました。私に与えられた私の壁を、私が持っている表現手段（筆・墨・粘土・漆）で、どのようにデザインするか、これが最も楽しい作業でした。1つ1つの作品の完成度より、壁面として見ていただきたいです。

右の壁（約3.6m）は、刻字作品を中心に構成しました。

刻字作品「ゆめ倶楽部」は、建物の看板として依頼され、板を2年前から預かっていましたが、この展示を締め切りと決めて、制作したものです。

左の壁（約4.8m）は、「五節句」の1つ「七夕」をテーマにした書と陶作品で構成しました。

「二十四節気」の折帖作品から、季節の移り変わりを意識した「暦シリーズ」が始まりました。夜空のロマンに想いを馳せ、星座、七夕の故事、七夕を詠んだ歌や句などを取材し、制作しました。